

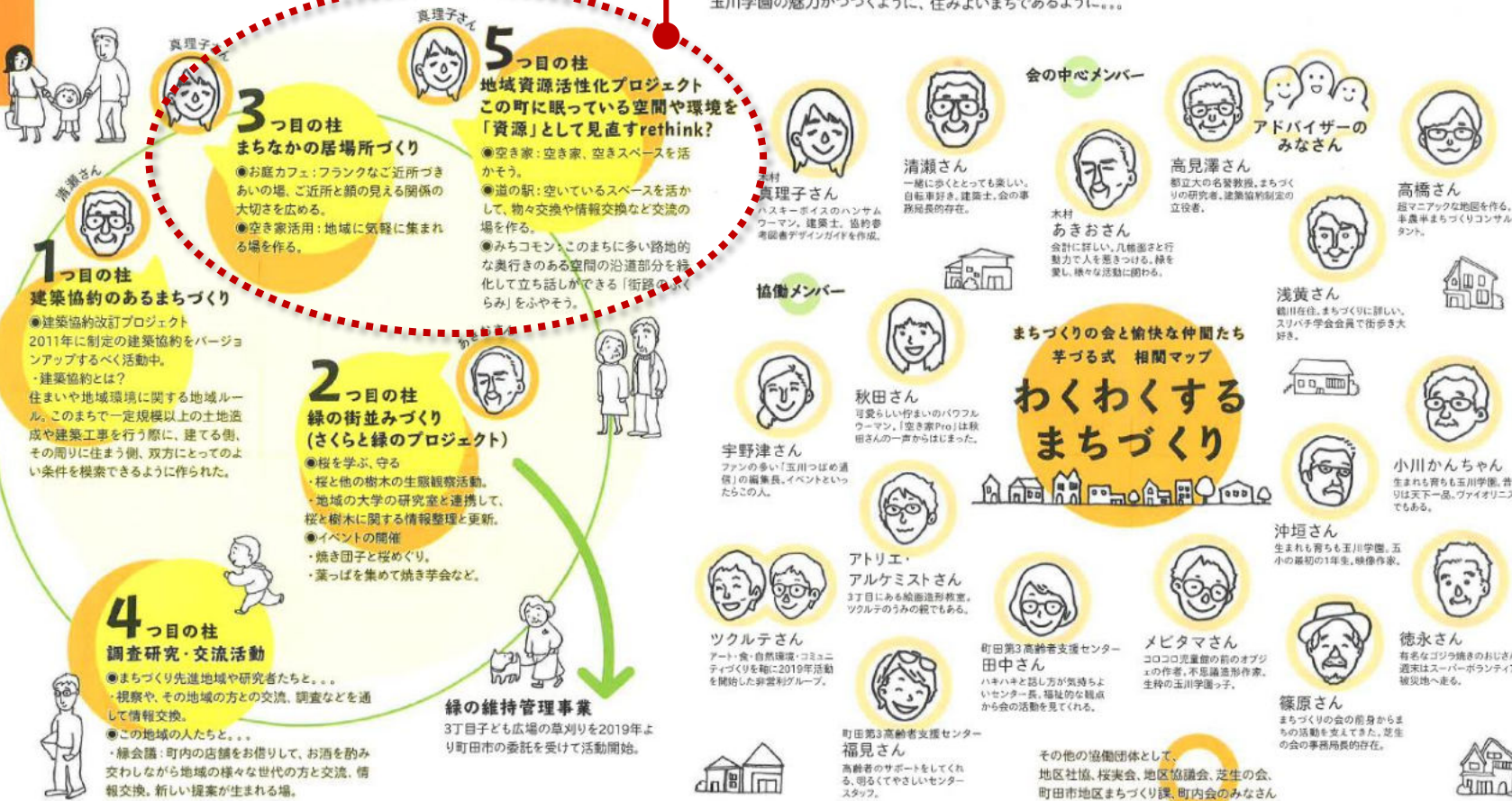
# 『玉川学園まちづくりの会』の取組み

## めじろ台地区4班・6班の活動の参考になる取組み

住みつづけられるまちづくり

まちづくりの会では。。。こんなこと、やっています！

緑豊かなほっとするまち、高齢者や子どもとの関わりを大切に、顔が見えるまち。小さな丘と谷戸が繰り返す起伏に富んだ地形は、豊かな景色で囲まれています。困ったときに、声をかけあえる。ちょっと得意なことを伝えあう。おいしいご飯の作り方、スマホの便利な使い方などなど。だれもがいつまでも、住みつづけたいと思うまちであるように地域の資源を育てていけたら。。。玉川学園の魅力がつつくように、住みよいまちであるように。。。



**1つ目の柱**  
建築協約のあるまちづくり

●建築協約改訂プロジェクト  
2011年に制定の建築協約をバージョンアップするべく活動中。  
・建築協約とは？  
住まいや地域環境に関する地域ルール。このまちで一定規模以上の土地造成や建築工事を行う際に、建てる側、その周りに住まう側、双方にとってのよい条件を模索できるように作られた。

**2つ目の柱**  
緑の街並みづくり  
(さくらと緑のプロジェクト)

●桜を学ぶ、守る  
・桜と他の樹木の生態観察活動。  
・地域の大学の研究室と連携して、桜と樹木に関する情報整理と更新。  
●イベントの開催  
・焼き団子と桜めぐり。  
・葉っぱを集めて焼き芋会など。

**4つ目の柱**  
調査研究・交流活動

●まちづくり先進地域や研究者たちと。。。  
・視察や、その地域の方との交流、調査などを通して情報交換。  
●この地域の人たちと。。。  
・緑会議：町内の店舗をお借りして、お酒を酌み交わしながら地域の様々な世代の方と交流、情報交換。新しい提案が生まれる場。

**緑の維持管理事業**

3丁目子ども広場の草刈りを2019年より町田市の委託を受けて活動開始。

**5つ目の柱**  
地域資源活性化プロジェクト  
この町に眠っている空間や環境を「資源」として見直すrethink?

●空き家：空き家、空きスペースを活かそう。  
●道の駅：空いているスペースを活かして、物々交換や情報交換など交流の場を作る。  
●みちコモン：このまちに多い路地的な奥行きのある空間の沿道部分を緑化して立ち話ができる「街路（みち）をふやそう。

夢の玉川学園町  
地域資源活性化！

「ダーチャ」とはロシア語で、庭つきのセカンドハウスのこと。豪華から簡単な小屋のようなものまで規模は様々です。ロシア人は週末や長期休暇に郊外のダーチャに行き家庭菜園やDIY、自然を楽しみます。日本のリフレッシュの場としてだけでなく、国の危機で食料品の調達が困難な時にも、各家庭のダーチャで取れた野菜やその保存食の備えが国民の食生活の支えになったとか。そんな、みんなの楽しみと気持ちの支え、時には生活の支えにもなる「ダーチャ」、そんな感覚をこの町に持ち込みたいならいかな。そんなダーチャの感覚から思いついた、いくつかの「あったらいいな」をご紹介します。

貸し菜園【空き庭】

ウイークディの住みとは別に、週末の家庭菜園の場として庭を借りられたらうれしい。建物の管理はハードルが高いけれど、外回りはきちんと維持して、収穫した野菜は大家さんにおすそわけしたりして楽しみたいな。

貸し駐車場【空きスペース】

もう車は使っていないお宅の空いたカースペースを、例えば週1回でも借りてきたら助かるな。貸す人にとっても相手の顔がわかっていれば安心だろうし、ちょっとしたお小遣いにもなるといいな。

小さな映画館【空き家】【空き部屋・スペース】

静寂と夜がならんでいるような映画館ではなく、アットホームな雰囲気なのが、好きな椅子やクッションに建て、家より少し大きなスクリーンでみんなで観る。そんな気軽にふらりと立ち寄れる喫茶店のような雰囲気の小さな映画館があったらいいな。

貸し駐車場【空きスペース】

気候のよい春や秋に、地元音楽家や音楽家志望の方が行う、たとえば「最下がりコンサート」なんているのがあったら、ちょっとワクワクするな。

貸し駐車場【空きスペース】

気候のよい春や秋に、地元音楽家や音楽家志望の方が行う、たとえば「最下がりコンサート」なんているのがあったら、ちょっとワクワクするな。

# 空き家は何が困るの？

- 維持や管理に  
お金がかかって大変...
- 売りたいけれど  
売れなくて...
- 活用方法を  
知りたいのですが...

## 空き家の持ち主

▲空き家の維持管理にかかるお金  
・税金(固定資産税や都市計画税)  
・火災保険  
・修繕費用  
・庭木剪定などの維持費用など  
これらを含めると年に数十万から  
数百万になる場合もあります  
「空き家の税金払いたくないなあ...」

お金も手間もかかる、  
誰も住んでいないのに!

心配事が増える

## 地域の人

▲空き家にしておくと  
・建物自体の劣化が早くなる  
・庭木や雑草が生い茂って  
景観を損ねる  
・蚊やスズメバチ、ハクビシンなどの  
動物や昆虫が住み着いたり...  
・不審火の心配や、治安の悪化に  
つながることも...

せっかく建てたおうち、住みつづける、見守りながら使う、がいちばんです!

# そこで。。。空き家にしない。空き家を増やさない。 こんなこと、始めました!

まちづくりの会では、空き家・空きスペース(お庭の一部や駐車場、空き室etc)の持ち主と、  
使いたい人の希望がうまく合えばいいな、「空き家をめぐる幸せな出会い」を作れたら。。。  
そんな風に考え、地域資源活性化プロジェクトと呼び、取り組んでいます。  
空き家をお持ちで困っている、家を相続する予定だけど住めないかもしれない、という方  
また、貸してくれる、売ってくれる空き家、空きスペースがないかしら?と探している方、  
ぜひ、私たちの活動をのぞいてみてください。

## 空き家相談

空き家、空きスペースの  
現状を把握して  
みんなで使える  
情報にする

## マッチング

持ち主と  
使いたい人を  
つなげる

## お庭カフェ バザーや道の駅

まちつながりの  
知り合いをつくる

# 地域資源活性化プロジェクト



のぞいて  
見てね!

## 今後の展開イメージ例



# 具体の取組み概要

## 「さくらと緑のプロジェクト - 玉川学園地域」

### いろいろなサクラを見つけよう

・学園都市として生まれたこの町は、様々な桜が植えられ今でも桜の多い町です

### 観察してサクラを少し元気にしよう

・落ち葉、落花と負担をかけている、近隣の皆さんには感謝しています  
 ・住民でできるケアを地域の皆さんの力で支えたい

### 地域で楽しく無理なく桜のイベント交流

・植生や育成技術を習得し、文化的教養も高めます  
 ・玉川学園地域の「景観の形成」に役立ちます



- ① 街なかベンチ
- ② お庭カフェ
- ③ 葉っぱバンク
- ④ きんじょの本棚
- ⑤ マルシェ
- ⑥ 空き家のお試し
- ⑦ 青空はらっぱ美術館

玉川学園の街並み風景



### サクラの樹種

- ① やまざくら (山桜)
- ② おおしまざくら (大島桜)
- ③ そめいよしの (染井吉野)
- ④ うこん (鬱金)
- ⑤ こひがんざくら (小彼岸)
- ⑥ かんざん (関山)
- ⑦ ふげんぞう (普賢象)
- ⑧ しだれさくら (枝垂桜)
- ⑨ かわずざくら (河津桜)
- ⑩ まめざくら (豆桜)
- ⑪ えどひがん (江戸彼岸)

# ①街なかベンチ

坂の多い町なので、町内会が通行に支障のない道路や通路、沿道の民地を対象に地区内に24か所ベンチを設置。



## ②お庭カフェ

ちょっとした空きスペース(家の駐車場やお庭など)を利用した井戸端会議の機会を設けている。

玉川学園  
まちなかに  
居場所づくり  
プロジェクト

誰もがいつまでも住み続けたい魅力あるまちに...  
住民みんなが創る未来が、玉川学園のまちづくり...  
このまちは、人が宝です

もっと、ずっと、このまちで。安心して暮らしを楽しもう

まずはお隣りや近所のきずなづくりから

「隣人祭り」は、1999年、パリのあるアパートマンで起きたおばあさんの自殺死をきっかけに、アパートマンの住人たちが隣人同士の顔の見える関係性をつくろうと、中庭で食事の持ち寄り会を始めた取り組みです。  
渋谷区では「おとなりサンデー = ふだん話す機会の少ない近隣の人ももっと顔見知りになる日」と称して、まちのあちこちで同様に開催しています。というわけで、我がまちでも2019年秋、隣人祭り「お庭カフェ」(近所と茶話会やお楽しみ会)を始めます!! まちのあちこちで地域の日常となって広がって欲しいと思っています。

2019 秋  
今年もやります!!!

それぞれに適宜雨天顺延します

第1弾! 10月26日(土) 13:00~16:00頃  
2丁目 塩澤朱工宅ギャラリー&お庭  
茶話会 + 蓮やミャンマーの話題も...

第2弾! 11月16日(土) 13:00~16:00頃  
4丁目 木村真理子宅駐車場  
茶話会 + 空き家や道端のみどりの話題も...

第3弾! 11月17日(日) 13:00~16:00頃  
2丁目 池田晃一・理恵宅駐車場  
茶話会 + 魚料理人の食育の話題も...



## ③葉っぱバンク

庭先に腐葉土還元の名札を付けた袋を配置、各人が落ち葉拾いを行い、広場に設置されたコンポストに集める。



# ④きんじょの本棚

家の前に定期的におすすめの本を並べて、本棚が設置してある場所でならどこで借りてどこで返してもいい取組み。



## ⑤マルシェ

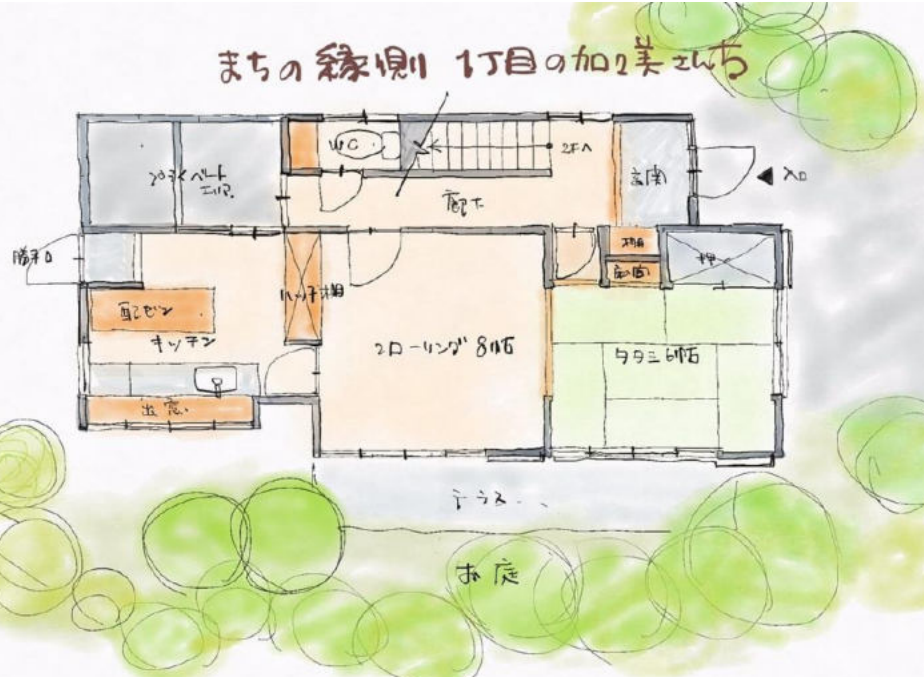
三浦展氏の講演を聞いて、賛同した地域の若者世代が、コロナで休業中の焼き鳥屋さんの場を借りて、マルシェを月1回程度開催。地域で分けてもらった古着をリユースし着物を販売したり、自作のベーグルや干物、野菜や手作り品などを売って交流を楽しむ人達が現れ出した。



# ⑥空き家のお試し

チラシや新聞をみて共感された方から空き家提供の申し出があり、手直しや維持運営、企画等を有志で話し合い、資金とアイデアを出し合って、有志の発掘も兼ねてお掃除ワークショップ、ペンキ塗りワークショップを通じてオープン。地域や近隣の「多様な方達の居場所」になれるよう、関わる人たちが主体的に企画して利用してくれるよう運営。

※4時間1500円





# ⑦青空はらっぱ美術館

都営住宅の計画がとん挫した跡地を広場として市からの委託に基づき、まちづくりの会が管理。  
遊具を置かず、原っぱスペースとし、地元の造形家の展示等を定期的

